

2026年6月9日
株式会社 毎日放送

第52回放送文化基金賞 放送技術部門 受賞 『1万人の第九 EXPO2025』



優れた番組や、放送現場での工夫・考案で効果を上げた顕著な技術業績に対して贈られる「第52回放送文化基金賞」において、大阪・関西万博の開幕イベント『1万人の第九 EXPO2025』における技術の取り組みが放送技術部門において受賞しましたので、お知らせいたします。

<業績内容>

■大阪・関西万博開幕イベント「1万人の第九 EXPO2025」
次世代通信「IOWN」で新たな中継スタイルを実現

『1万人の第九 EXPO2025』は、大阪・関西万博の開幕初日に大屋根リングとウォータープラザにて開催された、1万人による壮大な合唱イベントです。今回の取り組みでは、NTTグループの技術協力のもと、約10キロ離れた本社と会場を次世代情報通信インフラ「IOWN」※オールフォトニクス・ネットワークで結ぶことで、離れた場所から番組を作る新しい中継スタイルを実現。放送技術によって広大な会場空間でありながら、大屋根リングに広がる1万人の合唱をズレのない「ひとつの音楽」として成立させることに成功しました。加えて、事前募集された合唱動画と会場のオーケストラとの協奏も実現しました。物理的な距離を超えて参加者が一体となる演出により、リアルとデジタルが融合した新たな音楽体験を創出。万博会場全体を1万人の合唱で包み、全世界にその模様を発信しました。

※IOWNとは

IOWN(Innovative Optical and Wireless Network)構想とは、あらゆる情報を基に個と全体との最適化を図り、多様性を受容できる豊かな社会を創るため、光を中心とした革新的技術を活用し、これまでのインフラの限界を超えた高速大容量通信ならびに膨大な計算リソース等を提供可能な、端末を含むネットワーク・情報処理基盤の構想です。オールフォトニクス・ネットワーク(APN: All-Photonics Network)はその構成要素の一つです。

IOWN | NTT R&D Website <https://www.rd.ntt/iown/>



受賞内容は以下の通りです。

【放送技術部門】

■受賞番組

『1万人の第九 EXPO2025』

■受賞スタッフ

総合技術局制作技術センター	田中 聖二
総合技術局制作技術センター	上田 一路
デジタルストラテジー局	市川 充史
総合技術局技術管理部	岩本 和也
総合技術局制作技術センター	奥川 遼
デジタルストラテジー局	石田 良馬
デジタルストラテジー局	樋口 達大
総合技術局制作技術センター	大谷 紗代
デジタルストラテジー局	伊藤 亮介
総合技術局制作技術センター	吉田 和之
総合技術局制作技術センター	星田 裕司

■『1万人の第九 EXPO2025』とは？

MBSテレビは、大阪・関西万博会場内にて、2025年4月13日の開幕初日の朝9時のオープンと同時に、『1万人の第九 EXPO2025』を開催しました。抽選で選ばれた6歳から93歳までの合唱団1万人が集結。万博アンバサダーを務める佐渡裕総監督の指揮のもと、お揃いの万博カラーのポンチョに身を包み、事前募集された合唱動画とも統合させて、“いつでも・どこでも・だれとでも・心と歌声がつながる” 唯一無二のベートーヴェンの「第九」大合唱を会場の空へと響かせました。

また、技術面では次世代情報通信インフラ「IOWN」の導入で、指揮者と合唱団の距離が最大約230メートルという、大屋根リングとウォータープラザ2拠点間での壮大な遠隔合唱に成功。クライマックスには約300発の花火も打ち上げられ、世界中からの来場者とともに万博の幕開けを華々しく祝福しました。

以上

本件問い合わせ先:コンプライアンス局広報部